

指導單位／雲林縣政府

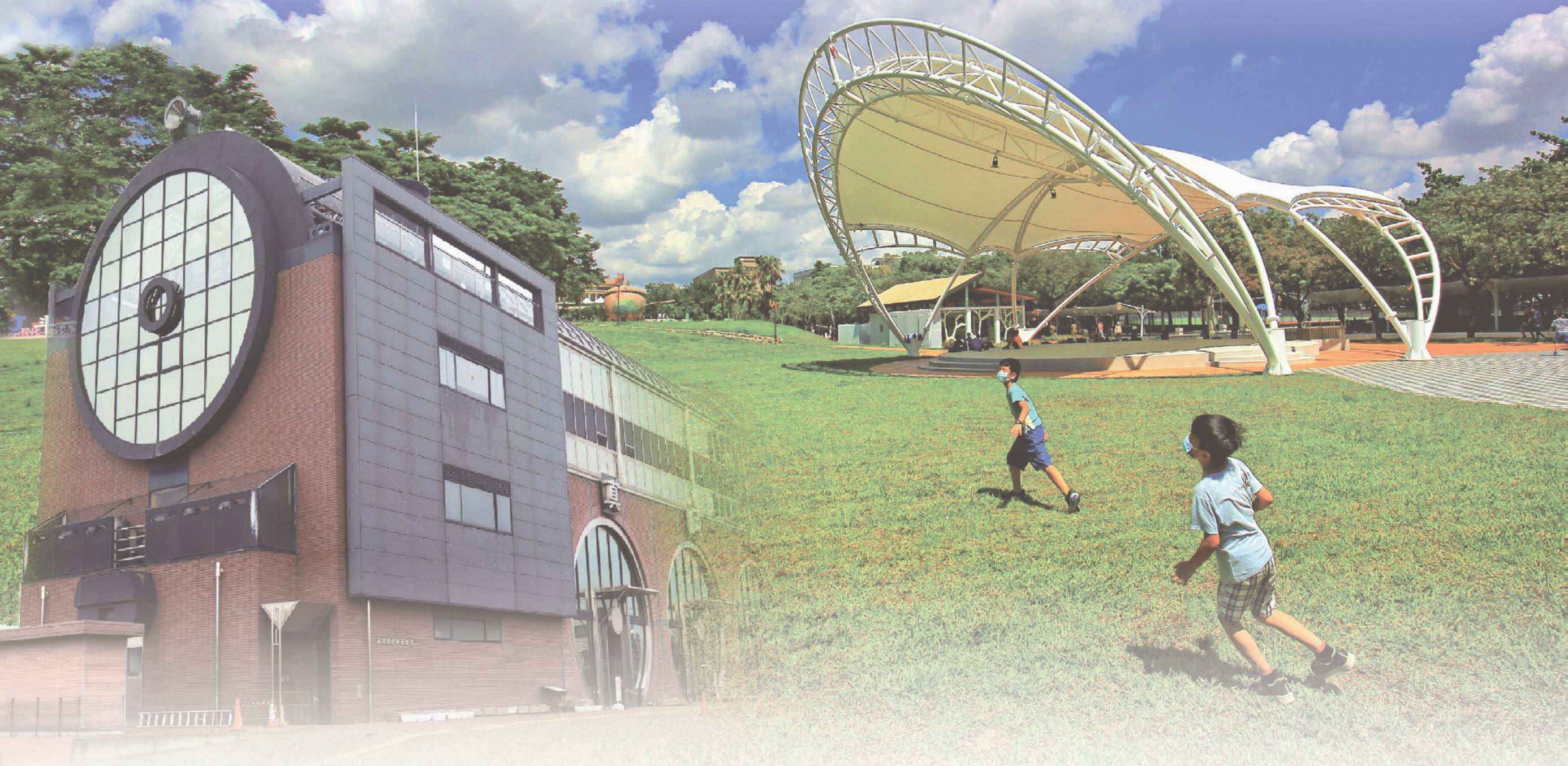
主辦單位／斗六市公所

協辦單位／斗六扶輪社、正心中學、鎮西國小、斗六市民代表會



斗六市與真岡市友好城市締結儀式

斗六市と真岡市友好都市締結式



目 録

目 次

-
- | | | |
|----|------------------------------|------------------------------|
| 02 | 活動程序表 | プログラム |
| 03 | 斗六市市長
林聖爵 賀詞 | 斗六市市長
林聖爵 祝辞 |
| 04 | 真岡市市長
石坂 真一 賀詞 | 真岡市市長
石坂 真一 祝辞 |
| 05 | 雲林縣縣長
張麗善 賀詞 | 雲林県知事
張麗善 祝辞 |
| 06 | 雲林縣副縣長
謝淑亞 賀詞 | 雲林県副知事
謝淑亞 祝辞 |
| 07 | 真岡市教育長
山中 孝雄 賀詞 | 真岡市教育長
山中 孝雄 祝辞 |
| 08 | 斗六扶輪社 社長
張勝超 賀詞 | 斗六ロータリークラブ 会長
張勝超 祝辞 |
| 09 | 真岡扶輪社 社長
市村 忠男 賀詞 | 真岡ロータリークラブ 会長
市村 忠男 祝辞 |
| 10 | 正心高級中學校長
林佳慧 賀詞 | 正心高級中学校長
林佳慧 祝辞 |
| 11 | 真岡西中學校長
古澤 英明 賀詞 | 真岡西中学校長
古澤 英明 祝辞 |
| 12 | 日本台灣交流協會台北事務所
副代表 服部 崇 賀詞 | 日本台湾交流協会台北事務所
副代表 服部 崇 祝辞 |
| 13 | 締結儀式與會來賓名單 | 友好都市締結式出席者リスト |



斗六市與真岡市友好城市締結儀式

斗六市と真岡市友好都市締結式



5月11日斗六市與真岡市友好城市締結儀式程序表 斗六市と真岡市友好都市締結式

時間	節目	プログラム
09:30~10:00	來賓報到	受付
10:00~10:05	唱國歌-中華民國、日本	国歌斉唱-中華民国、日本国
10:05~10:15	介紹來賓	來賓紹介
10:15~10:25	正心中學弦樂四重奏	正中高校弦樂四重奏
10:25~10:30	影片-真岡西中旗舞表演	真岡西中旗ダンスビデオ
10:30~11:00	貴賓致詞	來賓挨拶
11:00~11:25	影片-介紹斗六市、真岡市	ショートビデオ-斗六市、真岡市紹介
11:25~11:35	簽署締結友好城市	友好都市締結書調印
11:35~11:40	交換紀念品	紀念品交換
11:40~11:50	大合照	記念写真
11:50~12:00	媒體聯訪	メディア対応時間

斗六市市長 林聖爵

市長賀詞

真岡市石坂真一市長、張麗善縣長、謝淑亞副縣長、真岡市柳田尚宏議員、斗六扶輪社張勝超社長、真岡扶輪社市村 忠男社長、真岡市府團隊以及各位在座貴賓，大家好！

首先，我代表斗六市公所和全體市民，向各位來賓致以最熱烈的歡迎和最真誠的問候！今天是一個值得紀念的日子，我們在此盛大舉行台灣雲林縣斗六市與日本真岡市結交友好城市的簽約儀式。這是我們斗六市歷史上的一大里程碑，為我們的國際城市外交建立新篇章。

在這個全球化、多元文化的時代，跨國交流已經成為了各地政府、企業和社會團體的重要任務。透過友好交流，我們可以擴大各自的視野，了解彼此的文化、歷史和發展，共同探討合作的機會和挑戰，並一起為地區的繁榮發展貢獻力量。

今天，斗六市和真岡市的結為友好城市，正是為了這樣的目的而努力的結果。

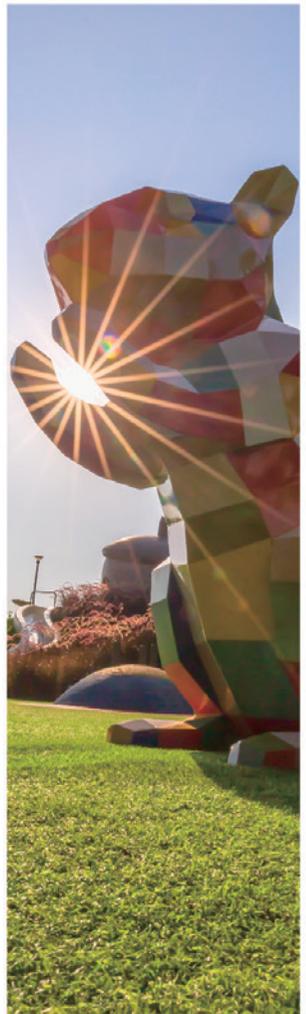
雖然兩地相距遙遠，但我們有著許多共同點和交流潛力，3月底我們訪問時參觀了真岡市的發電廠及焚化爐等相關設備，見識到日本人行步道的建置，讓行人徒步安全穿越城市道路成為人們生活的日常，也是斗六市學習的目標。

斗六市是雲林縣的中心城市，位於臺灣的西南部，交通便捷，產業豐富，擁有一座聞名全台的湖山水庫，剛完工不久的膨鼠森林公園更成為台灣最夯的親子公園，斗六還擁有雲林及環球科技大學及台大醫院及成大醫院雲林分院等知識及醫療資源，另有聞名全台的文旦、茂谷柑、絲瓜等多元的農村風情。真岡市則是日本關東地區的一個歷史悠久、風景優美的城市，以農業、工業和旅遊業聞名於世，其中盛產各式草莓，一口咬下酸酸甜甜的滋味更令我難忘，真岡市同樣也有著深厚的文化底蘊和獨特的地方特色。

我相信，透過我們兩地的友好城市關係，我們可以在文化、經濟、教育、旅遊等方面進行更加緊密和有益的合作，共同推進兩地的發展和進步。我們也期待著日後的交流活動，例如文化藝術展覽、學術研討會、旅遊交流等，這些活動將為兩地人民帶來更為便利的生活。



斗六市市長 林聖爵



斗六市市長 林聖爵

市長祝辞

真岡市石坂 真一市長、張麗善県知事、謝淑亞副県知事、真岡市の柳田 尚宏議員、斗六ロータリークラブ張勝超会長、真岡ロータリークラブ市村 忠男会長、真岡市役所の皆さま、そして今日出席されたゲストの皆さま、おはようございます！

まず、斗六市役所と市民を代表して、今日出席された皆様に心からの歓迎と敬意を申し上げます。今日は、台湾雲林県斗六市と日本真岡市の間で盛大な調印式を行う記念すべき日です。これは斗六市の歴史における大きな節目であり、国際都市外交の新たな1ページの始まりであります。

グローバル化と多文化主義のこの時代において、国境を越えた交流は、あらゆる場所の政府、企業、社会集団にとって重要な課題となっています。友好的な交流を通じて、視野を広げ、お互いの文化、歴史、発展を理解し、協力の機会と課題について話し合い、地域の繁栄と発展に貢献することができます。

今日、斗六市と真岡市が友好都市として締結されたのは、その達成に向けた努力の賜物です。

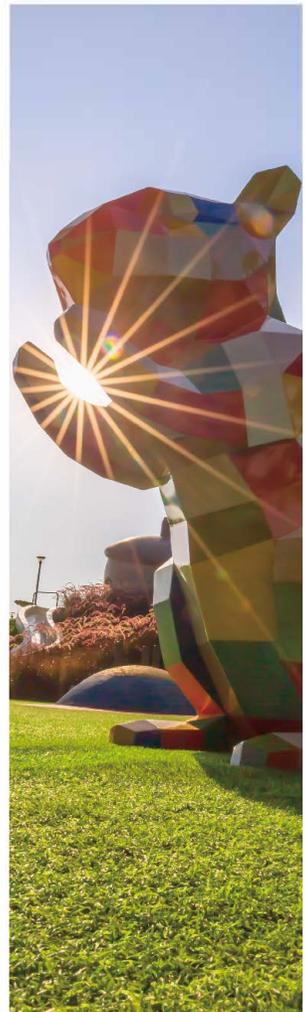
両市は遠く離れていますが、多くの共通点と交流の可能性があります。3月末の訪問では、真岡市の発電所や焼却炉などの関連設備を見学し、また日本の歩道の建設を目の当たりにし、歩行者が徒歩で安全に都市道路を横断することが日常茶飯事となっており、斗六市の見習うの目標でもあります。

斗六市は雲林県の重要都市であり、台湾の南西に位置し、交通の便が良く、産業が豊富で、台湾には有名な湖山貯水池があり、最近完成した膨鼠森の公園は台湾で最も人気があるファミリーパークになっています。斗六市はまた、雲林科技大学やグローバル科技大学、国立台湾大学病院、成大病院雲林支部などの学問と医療の資源、台湾で有名なザボン、モグマンダリン、ヘチマなどの田舎風情がみられます。真岡市は、農業、工業、観光で知られる関東地方の長い歴史と景観を持つ都市です、とくにいちご品種が豊富で、甘酸っぱい味は私にとって忘れられません。真岡市は、豊かな文化遺産と独特の地域特性を持ったまちであります。

両市は友好都市の関係を通じて、文化、経済、教育、観光においてより緊密で有益な協力を行い、両市の発展と進歩を共同で促進できると信じています。また、文化・美術展、学術セミナー、観光交流など、今後の交流活動にも期待しています、これらの活動は、両市の人々により多くの利便性をもたらすことを期待しています。



斗六市市長 林聖爵



真岡市市長 石坂 真一

市長賀詞

斗六市和真岡市今天在林市長、斗六市民以及兩市扶輪社代表的見證下締結友好城市，我感到非常榮幸和高興。

斗六市與真岡市友好關係的歷史是，自1983年斗六市扶輪社和真岡市扶輪社締結姊妹社以來，歷年來藉由不間斷的互訪加深了彼此友誼。此外斗六市正心高級中學和真岡西中學校也每年輪流訪問並積極互動，且在1993年締結為姐妹學校。我要再次感謝兩市的扶輪社，正心高級中學以及所有參與其中的人，感謝他們在友誼交流中所做的努力。

在這個值得紀念的里程碑之年，是扶輪社締結姊妹社40周年和國中締結姊妹校30周年，我們認為，在這裡與斗六市締結友好城市，可以更進一步推進國際交流活動，對兩市和市民都具有重要意義。

我們衷心希望這項協議能夠加深斗六市和真岡市市民之間的相互瞭解，促進體育、文化藝術、產業經濟等廣泛領域的交流，以及扶輪社和國初中的交流，並導致兩個城市的進一步繁榮和發展。

真岡市位於日本中部，擁有得天獨厚的自然環境，農業、工業和商業平衡發展，人口約7萬8千人。此外我們加強了品牌力，提高了知名度，包括擁有日本最大產量的草莓，並穩步發展成為一個充滿活力和吸引力的城鎮，在日本各地引以為豪的城市。

明年是真岡市成立70周年。希望斗六市民能來真岡市訪問，與我們分享慶祝建市70周年的喜悅，並享受真岡市的眾多魅力，包括日本最好的草莓，文化財產和旅遊設施。

我還要向斗六市的每個人表示深切的敬意，感謝他們為舉行這次儀式所做的努力，並向金 希仁先生表示衷心的感謝，他作為兩個城市之間的協調者在締結過程扮演重要角色。

最後，我衷心祝福斗六市與真岡市之間的交流源源不斷，兩個城市的進一步發展，以及兩個城市市民的健康和幸福。



真岡市市長 石坂 真一



真岡市市長 石坂 真一

市長祝辞

本日は、ここ斗六市を訪れ、林市長様をはじめ、斗六市の皆様及び両市ロータリークラブの関係者のご出席のもと、斗六市と真岡市が友好都市を締結できることは、大変光栄であり、この上ない喜びであります。

斗六市と真岡市との友好関係の歴史を紐解きますと、1983年に斗六市と真岡市のロータリークラブが姉妹クラブを締結したことを契機に、その後、公式訪問団やロータリークラブが相互に訪問するなど、友好親善を深めてまいりました。また、中学生についても、斗六市の正心高級中学と真岡西中学校が1993年に姉妹校を締結し、毎年交互に訪問し、盛んに交流を進めてまいりました。これまでの親善交流の中でご尽力いただきました、両市ロータリークラブや正心高級中学をはじめとする関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

ロータリークラブの姉妹クラブ締結から40年、中学校の姉妹校締結から30年となる、記念すべき節目の年に、改めて斗六市と友好都市締結を行い、一層、国際交流活動を進展できることは、両市及び両市民にとって、大変重要な意味を持つものと考えております。

この締結により、斗六市・真岡市、両市民の相互理解を深め、これまでのロータリークラブや中学校の交流に加え、スポーツや文化芸術、産業経済など幅広い分野における交流を推進するとともに、両市のさらなる繁栄と発展につながることを心から期待するものであります。

さて、真岡市は、日本の中央に位置し、豊かな自然環境に恵まれ、農業、工業、商業がバランスよく調和した、人口が約78,000人の都市であります。また、生産量日本を誇るいちごをはじめとしたブランド力の強化と知名度の向上を図り、日本全国に誇れる、活気に満ちた魅力ある街として着実に発展してまいりました。

来年には、真岡市が市制を施行してから70周年を迎えます。ぜひ、斗六市の皆様には、真岡にお越しいただき、市制施行70周年を迎える喜びを分かち合い、さらには、日本一のいちごをはじめ、文化財や観光施設など、数多くの真岡市の魅力を堪能していただければ幸いに存じます。

また、本式典の開催にあたりご尽力いただきました斗六市の関係各位に深く敬意を表しますとともに、本締結にあたり、両市間の調整役として大きな役割を果たしていただきました金希仁様に心から御礼申し上げます。

結びに、斗六市と真岡市の今後の末永い交流と、両市の益々の発展、並びに両市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、あいさつといたします。



真岡市市長 石坂 真一



雲林縣縣長 張麗善

縣長賀詞

斗六市林聖爵市長、真岡市石坂真一市長、真岡市柳田尚宏議員、斗六扶輪社張勝超社長、真岡扶輪社市村忠男社長及真岡市府團隊及各位在座貴賓、各位公所同仁大家好！

今日很高興參加斗六市與日本真岡市締結友好城市記者會，說起真岡市與斗六市締結源起是起於民國72年兩市扶輪社締結友好姊妹社開始，也因為真岡市及斗六市扶輪社的長期合作交流及共識，促成今日兩市締結友好城市的美事，在此本人表達感謝之意。

斗六市為雲林縣縣治中心所在、也是人口最多的城市，包括農業、科技、教育、體育、藝術、文化觀光等各項產業都佔本縣舉足輕重的地位。

真岡市石坂真一市長政績卓越，有目共睹，也受到真岡市民的肯定，這次雙方締結友好城市對本縣來說意義非凡，同時也對雙方的各項產業交流帶來新的契機及發想。

相信斗六市長也會持續向真岡市長多多請益，也請真岡市石坂真一市長不吝賜教。

近3年爆發新冠肺炎COVID-19疫情，各國都被迫中斷實體交流活動，也因疫情影響甚鉅，重創各國經濟發展，大家一路走來相當艱辛。

近期疫情已逐漸趨緩，因此本次締結雙方姊妹市不但能活絡兩市的各項交流活動，更非常期待持續深化兩市間厚實的情誼。

衷心祝福斗六市與真岡市的發展更上一層樓，也祝福兩市市民身體安康、鴻圖大展。

斗六市做為雲林縣首善之市，不僅要擔當雲林縣的領頭羊，更期待能與世界各城市多做交流、與世界接軌，走向國際化、現代化。

相信在斗六市林市長的帶領下，斗六市各項產業都能加速前進，讓世界各城市看見雲林，雲林上場、品質保證。

最後敬祝大家 身體健康 萬事如意 謝謝



雲林縣縣長 張麗善



雲林縣縣長 張麗善 2023.05.11

雲林県知事 張麗善

知事祝辞

斗六市林聖爵市長、真岡市石坂 真一市長、真岡市 柳田 尚宏議員、斗六ロータリークラブ 張勝超会長、真岡ロータリークラブ市村 忠男会長及び真岡市役所の皆様、ご来賓の皆様、斗六市役所の皆様、こんにちは！

本日は、斗六市と真岡市の友好都市締結式に出席できる事を大変嬉しく思うとともに、真岡市と斗六市の結成といえば、中華民国72年（1983年）に両市のロータリークラブが姉妹クラブを締結したことが起源です。また、真岡市・斗六市ロータリークラブの長期にわたる協力、交流、合意により、本日、両市間の友好都市が締結でき、感謝申し上げます。

斗六市は雲林県の県庁所在地の中心であり、農業、科学技術、教育、スポーツ、芸術、文化、観光、その他の産業を含む最も人口の多い都市であり、県内で極めて重要な位置を占めています。

真岡市の石坂 真一市長は、優れた政治的実績をあげ、真岡市民に認められており、両者の友好都市の締結は本県にとって大きな意義であり、双方の様々な産業交流に新たな機会やアイデアをもたらしています。

斗六市長、今後は真岡市長重ねて教えを願うこともありますでしょう！真岡市の石坂 真一市長、その時どうぞよろしくお願いいたします。

過去3年間で、COVID-19の大流行により、各国は実質的な交流活動を停止せざるを得なくなり、その影響は非常に大きく、さまざまな国の経済発展に深刻な打撃を与え、誰もが非常に困難な道でありました。

幸いにも、パンデミックは徐々に緩和されているため、今回の友好都市締結は双方の交流活動を活性化するだけでなく、両都市の強い友情を深め続けることを楽しみにしています。

斗六市と真岡市のさらなる発展を心から願うとともに、両市の市民の健康と大きな繁栄を祈っています。

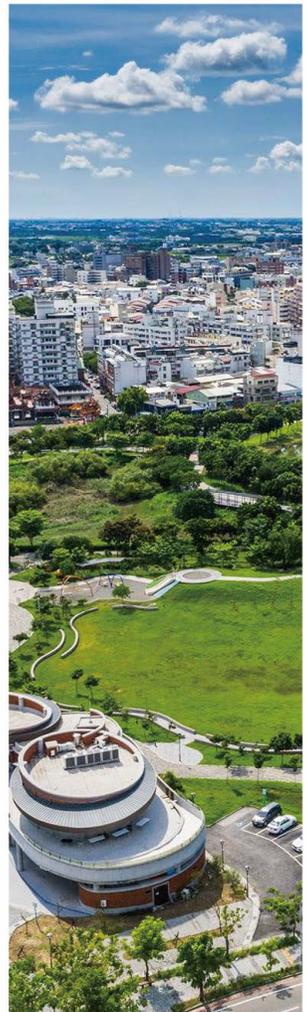
雲林県でもっとも重要な都市として、斗六市は雲林県のリーダーであるだけでなく、世界中の都市との交流を増やし、世界とつながり、国際化と近代化に向けて動くことを楽しみにしています。

斗六市の林市長のリーダーシップの下、斗六市のすべての産業が進歩を加速し、世界中が雲林県を見えるようになるに信じています。品質保証をいたします。

最後に、皆様の健康とご多幸をお祈り挨拶といたします。



雲林県知事 張麗善



雲林縣副縣長 謝淑亞

副縣長賀詞

縣長、斗六市林聖爵市長、真岡市石坂 真一市長、真岡市柳田 尚宏議員、斗六扶輪社張勝超社長、真岡扶輪社市村 忠男社長及真岡市府團隊及各位在座貴賓、各位公所同仁大家好！

非常榮幸能以斗六市前市長身分與大家共同見證，斗六市與日本真岡市締結友好城市的歷史時刻。兩市走過近40個春夏秋冬的情誼讓人感動，自1983年，斗六扶輪社與真岡市扶輪社締結為姐妹社，也推動了斗六市的正心中學與真岡西中學成為姐妹校，藉由「兩社」與「兩校」的關係，更建立兩市友善的交流關係，期間真岡市政府也曾多次率團來到斗六市進行訪問，每一段交流的點滴，讓兩市深厚的情誼堅如磐石。

時光回到2017年3月，當時我率領斗六市參訪團，飛越2千多公里，從斗六市到了日本真岡市，觀摩城市綠美化規劃、農業行銷、教育環境與環境保護、清潔等各項市政，在那五天的緊湊的參訪行程中，我們汲取了城市管理的卓越標竿經驗，更感受到真岡市政府及社團各界的熱情，這一幕幕的記憶像走進時光隧道，再次讓我回到溫暖又感動的回憶。

斗六市與日本真岡市是兩個充滿活力和歷史文化的城市，擁有著豐富農物產，彼此有著深厚友誼，正式締結成友好城市將是一個重要里程碑，很期待在文化藝術、宗教、教育、觀光旅遊、經貿、農產及體育活動等多方面，雙方能推進更深度的交流與合作發展。

最後，感謝真岡市石坂 真一市長所率領參訪團蒞臨本縣交流參訪，也衷心祝福兩市活絡各項交流互惠、深化友誼，促進彼此未來更繁榮和美好的發展！

最後敬祝大家 身體健康 萬事如意

謝謝！



雲林縣副縣長 謝淑亞



雲林県副知事 謝淑亞

副知事祝辞

知事、斗六市林聖爵市長、真岡市石坂 真一市長、真岡市柳田 尚宏議員、斗六ロータリークラブ張 勝超会長、真岡ロータリークラブ市村忠男会長、真岡市役所、出席されたゲストの皆さま、おはようございます。

斗六市と日本真岡市が友好都市締結となった歴史的な瞬間を目の当たりにすることができ、元斗六市長であることを大変光栄に思います。1983年からは、斗六ロータリークラブと真岡市ロータリークラブが姉妹クラブとなり、斗六市の正心中学と真岡西中学校も姉妹校を締結され、「2つのクラブ」と「2つの学校」の関係を通じて両市の間に友好的な交流関係を築き、その間、真岡市も代表団を雲林県副知事 謝淑亞率いて斗六市を何度も訪問され、あらゆる交流が両市の深い友情を強固にしました。

2017年3月にさかのぼって、私が斗六市の代表団を率いて、斗六市から日本の真岡市まで2,000キロ以上飛行し、斗六市から日本真岡市へいきました。真岡市の緑美化計画、農業マーケティング、教育環境と環境保護などの自治体を視察しました。5日間の短い訪問でしたが、都市経営の優れたベンチマークとして学び、真岡市役所や各界の熱意を感じ、この思い出はいまでも私を感動させます。

斗六市と日本真岡市は、活力と歴史に満ちた2つの都市であり、豊かな農産物と互いに深い絆で結ばれています。友好都市の締結は重要な節目であり、文化芸術、宗教、教育、観光、経済・貿易、農産物、スポーツ活動等の様々な分野で交流と協力を深めていくことを楽しみにしています。

最後に、代表団を率いて本県を訪問して下さった石坂 真一市長に感謝するとともに、両市が様々な交流と相互利益を活性化し友情を深め、今後の互いのより豊かで美しい発展を促進することを心から願っています！

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。



雲林県副知事 謝淑亞



真岡市教育長 山中 孝雄

教育長賀詞

在過去的30年裡，真岡西中學和正心高級中學教育交流瞭解了彼此的生活方式和文化，並建立了超越語言和習俗差異的密切關係。今天，在這個值得紀念的一年裡，兩校交流30周年之際，我對締結友好城市之事深深感動，衷心表達我的祝福之意。

我本身在擔任真岡中校長時，我實際上訪問了斗六市。初次到斗六市時就受到了大家的熱烈歡迎，體驗斗六市的歷史與文化、接觸到的人都讓我驚豔，這些回憶深深地印在心裡。

不幸的是因疫情，真岡西中學校和正心高級中學之間的教育交流自令和元年訪問團以來都被取消。然而，與此同時，兩校使用網路延續姐妹學校之間的互動。去年11月，就算在疫情之中，正心高級中學林校長等四名老師們訪問了真岡西中學。我想再次向正心高級中學老師和學生們表示最深切的感謝，感謝他們在疫情期間也不曾忘記真岡西中學校，珍惜彼此之間的情誼。

今年，為紀念交流30周年，我們計劃三年來首次派遣和接收學生。我相信，恢復直接交流將進一步加強兩校之間的聯繫。

毫無疑問，今天將進一步發展，兩市在市民、旅遊和經濟等廣泛領域的交流。衷心希望兩市教育交流更加積極，加深兩市學校與未來的主人翁的相互瞭解，兩座城市能夠形成更深厚的聯繫。

最後，我要向所有為締結友好城市而努力的人們表示衷心的感謝，並為這兩城市的進一步發展祈禱。



真岡市教育長 山中 孝雄



真岡市教育長 山中 孝雄

教育長祝辞

真岡西中学校と正心高級中學の生徒たちは、これまで30年にわたり、教育交流を通して互いの生活習慣や文化を学び、言葉や風習の違いを越えて、親密な関係を築いてきました。そして今日、両校の交流30周年というこの記念すべき年に、友好都市締結が行われることに深い感慨を覚えるとともに、心よりお慶び申し上げます。

私自身、真岡西中学校長時代に、実際に斗六市を訪れました。初めて斗六の地に降り立ったとき、皆さんからの心からの歓迎を頂き、斗六市の歴史や文化、人々の素晴らしさに触れた経験は、今でも深く心に残っています。

コロナ禍により、令和元年度の生徒派遣以来、真岡西中学校と正心高級中學の教育交流は残念ながら中止していました。しかし、その間も両校はオンラインを活用して姉妹校としての交流を続けてきました。また、昨年11月には、正心高級中學の林校長先生をはじめ、4名の皆様が真岡西中学校を訪問してくださいました。コロナ禍にあっても、正心高級中學の先生方、生徒の皆様が真岡西中学校との絆を大切に育んでくださったことに、改めて深く感謝申し上げます。

今年度は、交流30周年を記念して、3年ぶりに生徒の派遣・受入を実施する予定です。直接交流の再開により、両校の絆がさらに固く結ばれることと確信しています。

さらに、今日を契機として、両市の交流は一般市民、観光・経済など幅広い分野においてさらに発展するに違いありません。教育交流もより活発に行われ、両市の学校同士、そして未来を担う子どもたち同士が理解を深め合い、両市が一層深い絆で結ばれることを期待してやみません。

結びに、この友好都市締結に際しまして、両市のますますの発展を祈念するとともに、これまでご尽力いただいた関係者の皆様に心より御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



真岡市教育長 山中 孝雄



斗六扶輪社社長 張勝超

社長賀詞

縣長、副縣長、斗六市市長、真岡市市長及各位來賓大家好。

斗六市和日本真岡市正式締結友好城市！這是一個歷史性的時刻，也是斗六市與真岡市友誼之樹生根發芽的開始。在這邊代表斗六扶輪社全體社員，表示衷心的祝賀！

斗六扶輪社與真岡扶輪社也有著深厚的友誼，我們一起在南聖宮種下的樟樹已經生長了40年，正心中學和真岡西中學的友好交流也已經30年。

今天，斗六市和真岡市正式締結友好城市，這是林聖爵市長及石坂市長兩位市長共同努力下的成果，更是兩地友誼的新里程碑！

斗六市與真岡市都是充滿活力和創新的城市，兩地有許多相似之處，也有許多可以互相學習和借鏡的地方。我們期待藉著友好城市的平臺，加強兩地在文化、教育、經貿、觀光等各個領域的交流和合作，為兩地居民帶來更多的福祉和機會。

最後，再次恭賀斗六市和真岡市正式締結友好城市，期待未來的友誼之樹在兩地人民的共同努力下茁壯成長，開花結果。我們斗六扶輪社也將繼續努力，為推動兩地友誼和合作盡一份力量。謝謝！



斗六扶輪社社長 張勝超



斗六市ロータリークラブ 会長 張勝超

会長祝辞

雲林県知事、副知事、斗六市市長、真岡市市長、そして各位来賓の皆様、こんにちは。

斗六市と日本の真岡市が正式に友好都市を締結します。この歴史的な瞬間は、斗六市と真岡市の友情が芽生え始めた時でもあります。斗六ロータリークラブの全員を代表して、心からお祝い申し上げます。

斗六ロータリークラブと真岡ロータリークラブには深い友情があり、南聖宮で一緒に植えたクスノキは既に40年が経ち、正心中学校と真岡西中学校の友好交流も30年になります。

今日、斗六市と真岡市が正式に友好都市を締結することになります。これは林聖爵市長と石坂市長の共同努力の成果であり、両地域の友情の新しいマイルストーンです！

斗六市と真岡市は、ともに活力にあふれ、創造性に富んだ都市です。両地域には多くの共通点があり、お互いに学び、参考できるものがたくさんあります。友好都市のプラットフォームを活用し、文化、教育、経済・貿易、観光などのあらゆる分野で交流と協力を強化し、両地域の市民にとってより多くの福祉と機会をもたらすことを期待しています。

最後に、斗六市と真岡市が正式に友好都市を締結することを再びお祝い申し上げ、両地域の人々が共に努力し、友情の木が健やかに育ち、成果を見せることを期待しています。斗六ロータリークラブも今後とも両地域の友情と協力を促進するために尽力していきます。ありがとうございました。



斗六ロータリークラブ
会長 張勝超



真岡扶輪社社長 市村 忠男

社長賀詞

我是市村 忠雄 Ichimura Tadao，真岡扶輪社第64任會長。謝謝你們讓我們可以參加斗六市和真岡市之間重要的紀念日，友好城市締結簽約儀式。

首先，恭喜斗六市和真岡市在今天締結友好城市。本月14日，我們將慶祝斗六扶輪社與真岡扶輪社締結姐妹社滿40周年。在此期間，隨著斗六正心高級中學和真岡西中學校締結姊妹校後，學生之間的交流開始了，兩個城市之間的行政交流開始了。通過多年的公私交往，兩市發展了友好關係。我還要對今天的簽字儀式表示祝賀。

期盼從今天起，兩國市民在工業、文化、教育、體育、旅遊等廣泛領域的相互交流，以及通過兩市的友誼和推動進行交流，將比以往任何時候都更加富有成效。

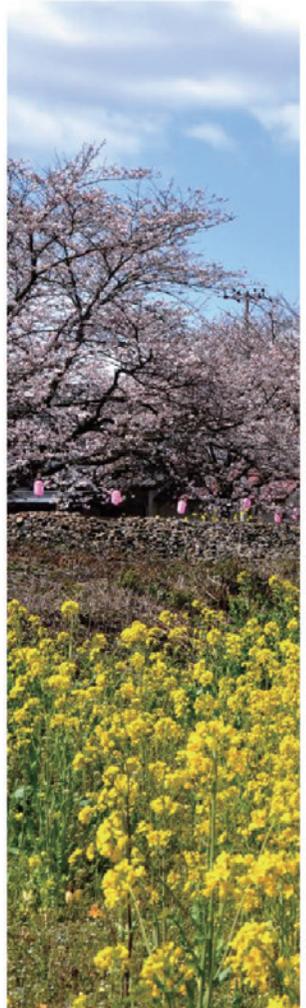
扶輪社有一個制度，如米山紀念獎學金，支援主要來自亞洲的國際學生。在過去的兩年裡，由本社成員野澤 拓美 (Takumi Nozawa) 一直作為輔導員照顧來自臺灣的國際學生林先生。每個月，他都會來到真岡扶輪社，向我們報告他的最新情況。目前林先生已在日本找到了一份工作，我希望這個制度能成為臺灣和日本之間的友誼橋樑。

此外，還有一個針對高中生的為期一年的交流計劃。我們希望將來能夠利用這個制度相互接納和照顧斗六市和真岡市的高中生。我覺得，隨著兩市簽署友好城市協定後，人文交流一定更加蓬勃發展，越來越成功。

最後，我期盼斗六市和真岡市的進一步發展以及兩市之間的交流更加活躍和富有成效，以上作為我的賀詞。



真岡扶輪社社長
市村 忠男



真岡ロータリークラブ 会長 市村 忠男

会長祝辞

私は真岡RC第64代会長を務めます市村忠男です。斗六市と真岡市の友好都市締結という記念すべき調印式に参加させていただきましたこと御礼を申し上げます。

初めに、斗六市と真岡市の友好都市締結の調印誠におめでとうございます。今月14日には斗六扶輪社と真岡ロータリークラブの姉妹クラブ締結40周年記念日を迎えます。その間、斗六正心高級中学校と真岡西中学校の姉妹校締結により生徒間の交流が始まり、両市間の行政交流も始まりました。永年に亘る官民レベルの交流を通して培われた、良好な両市の友好関係が育まれてきました。そして、本日調印式を迎えられましたことお慶び申し上げます。

本日を境として今まで以上に、産業、文化、教育、スポーツ、観光等多くの分野において広く市民間の相互交流や両市の親善、振興をとおした交流が深まること、実りあるものとなることをご期待申し上げます。

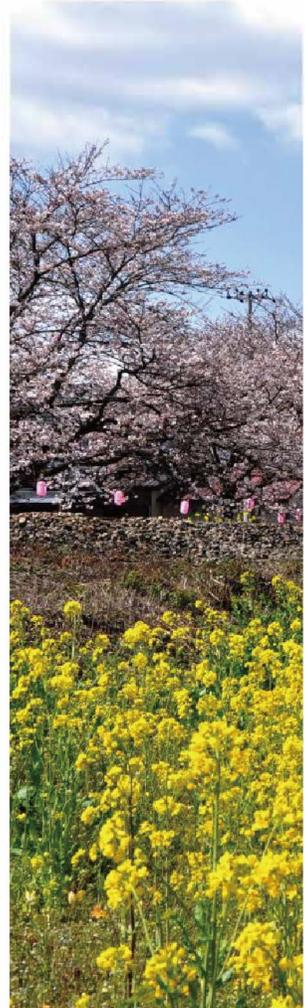
ロータリーには、主にアジアからの留学生を米山記念奨学生としてお世話する制度があります。今年度まで2年間台湾出身の留学生林さんを野澤巧会員がカウンセラーとしてお世話してきました。毎月、真岡クラブに来て近況報告をしてくれました。林さんは日本で就職しましたが、台湾と日本の友好の懸け橋になってくれると期待しております。

また、高校生を対象にした一年交換留学生の制度もあります。将来、この制度を利用して斗六市と真岡市の高校生を相互に受け入れお世話できる年が来ることを願っております。友好都市締結は両市の人的交流が盛んになることで益々成果が上がるのではと感じます。

結びに、斗六市と真岡市の一層の発展と両市間の交流が益々盛んになり、実り多いものとなることをご期待申し上げ、祝辞とさせていただきます。



真岡ロータリークラブ
会長 市村 忠男



正心高級中學校長 林佳慧

校長賀詞

正心中學與真岡西中在1993年締結為姊妹校，這30年來藉由兩校師生互訪的方式，維持良好的互動關係，拓展學生們的國際視野，也因此結交了許多好朋友，這一切都要感謝歷任真岡市市長與市政府的大力支持。

1991年先後由真岡市菊地 恆三郎市長、真岡扶輪社與真岡西中大塚 宏校長、上野 良夫家長會長、天古 十郎教育次長（共九位代表）首次到正心中學考察；1992年由本校吳友梅校長帶領陳憲一、黃龍章、吳森雄、方盛雄等主任以及王政雄家長會長拜訪真岡西中後，本校與真岡西中於1993年7月正式締結為姊妹校，開啟兩校的實地交流活動。1997年本校音樂班管樂團62名選受邀參加日本松濱第一屆泛太平洋管樂演奏會，在文化與藝術的交流中收穫良多。

自1993年交流以來，除因2003、2009、2011年因SARS、流感及日本311地震的影響暫停交流活動外，正心中學已到真岡西中訪問12次，參與的學生365人次；真岡西中學生已到正心中學訪問12次，參與的學生321人次。

學生在經由姊妹校交流的機會，受到接待家庭的招待，能實地體會異國文化，對於學生國際視野的培養，有很深的影響。真岡西中與正心中學的師生也因此結交了許多好朋友，即使近三年因Covid-19的影響暫停互訪活動，但在兩校仍以線上方式持續交流活動。

在未來世界中，國際間的交流互動已經是自然且重要的方式，石坂真一市長對於市政的遠大規劃及友台的態度令我感動，斗六市在林聖爵市長的帶領下，各項市政也有新的發展；斗六扶輪社與真岡扶輪社的友誼穩固，今天更可以見證斗六市與真岡市締結為友好市，這是一個非常重要的里程碑，希望兩市未來能在建立共好的遠景下，並在未來的日子裡共同努力，實現更多的合作和交流。



正心高級中學校長
林佳慧



正心高級中学校長 林佳慧

校長祝辞

正心中学校と真岡西中学校は、1993年に姉妹校締結以来、過去30年間にわたり、両校の教員と生徒の訪問を通じて良好な関係を維持し、生徒の国際的な視野を広げ、多くの良き友人ができました。

1991年、真岡市菊池恆三郎市長 真岡ロータリークラブ、真岡西大塚宏校長、上野義雄PTA会長と天古十郎教育副部長(計9名)が初めて正心中学校を訪問されました。翌年1992年、呉友梅校長率いる訪問団が陳憲一、黄龍章、呉森雄、方盛雄主任方、王 政雄PTA会長率いる訪問団が真岡西中学校を訪問した後、本校と真岡西中学校は1993年7月に正式に姉妹校を締結しました、両校の交流活動を始めました。1997年には、本校の音楽クラスの管弦楽団のメンバー62名が松浜で開催された第1回パンパシフィック管弦演奏会にも招待され、文化と芸術交流し収益が多くありました。

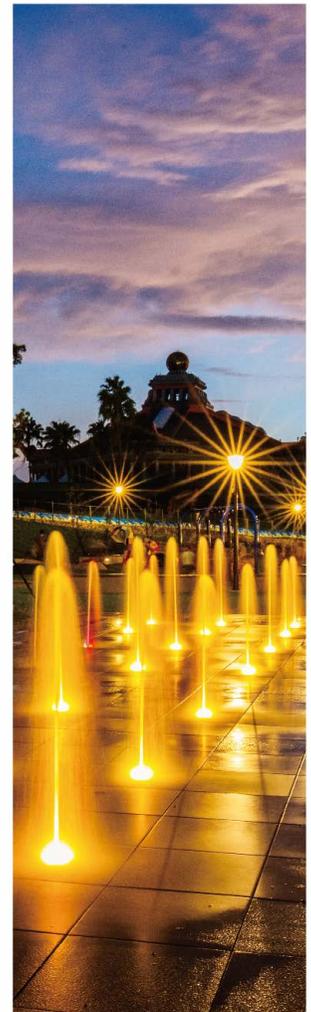
1993年の交流以来、2003年、2009年、2011年のSARS、インフルエンザの流行や東日本大震災の影響による交流活動の中断を除き、正心中学校は真岡西中学校を12回訪問し、のべ365人の生徒が参加しました。真岡西中学校の生徒は、正心中学校を12回訪問し、のべ321人の生徒が参加しました。

姉妹校の交流を通じて、ホストファミリーに迎え入れられ、現地で外国の文化を体験することができ、学生の国際視野の育成に大きな影響を与えました。その結果、真岡西中学校と正心中学校の先生や生徒もたくさんの友達ができました。Covid(19)の影響で過去3年間、現地訪問の交流は中断されていますが、両校はオンラインでの活動交流を続けています。

これからの世界では、国際間の交流と対話は重要なことであります。石坂真一市長の自治体に対する計画や親台な姿勢に感動しました。斗六市も林聖爵市長のリーダーシップの下、新しい発展を切り開いています。斗六ロータリークラブと真岡ロータリークラブの友好関係は固く、今日は、斗六市と真岡市が友好都市の締結に至ったのであります。これは非常に重要なマイルストーンであり、両市は同じ未来を描くことで、将来的により多くの協力と交流を達成できることを願っています



正心高級中学校長
林佳慧



真岡西中學校長 古澤 英明

校長賀詞

恭喜斗六市與真岡市簽署友好城市。作為真岡西中學校長，我衷心祝賀。此外，我要對林校長和其他四位在去年11月來到真岡市・真岡西中學訪問表示衷心的感謝。謝謝。

在兩市締結友好城市協議之際，我們想回顧一下正心高級中學和真岡西中學校姐妹學校的歷史。兩校於1993年結為姐妹學校關係，在1994年11月是我們第一次的訪問團訪問了貴校。

我們衷心感謝彼此從那以後每年都互相拜訪，並始終以尊重和愛心對待我們。今年是姊妹學校締結30周年，我們認識到今年是跨越歷史的里程碑，經過長期的各種文化交流加深彼此友誼，讓我們從不同的視野再次認知跨國際親善之意。

此外，正心高級中學和真岡西中學之間的交流，我們確實有落實在姊妹學校協議書中寫道“1兩所學校將本著互惠平等的原則促進教育、文化、體育、娛樂等方面的密切交流”和“2兩所學校將努力與學生、畢業生、教師及其家人建立友好關係”。

據我校畢業的學生說，他們中的許多人仍然與接待家庭和你們學校的學生們保持著個人聯繫，我覺得他們在相互接受對方的同時正在實踐美好的國際交流。我強烈感受到，這次交流不僅限於教育和文化交流，也為引領未來的學生提供了一個很好的機會，讓他們思考如何從國際視野為兩國和世界的有利發展做出貢獻。

遺憾的是，由於冠狀病毒大流行，我們這幾年來一直無法進行學生之間的直接交流，但我們期待今年恢復直接交流，共同慶祝交流30周年。

最後，我要祝賀斗六市與真岡市簽署友好城市之際，進一步加強友誼紐帶，發展和繁榮兩市，加深永恆的友誼與和平。



真岡西中學校長
古澤 英明



真岡西中学校長 古澤 英明

校長祝辞

斗六市・真岡市友好都市締結、誠におめでとうございます。真岡市立真岡西中学校長として心からお慶び申し上げます。また、昨年11月には、林校長先生をはじめ4名の皆様に、真岡市・真岡西中学校にお越しいただき大変感謝しております。ありがとうございました。

今回の友好都市締結に際しまして、正心高級中學と真岡西中学校との姉妹校に関する歴史を振り返らせていただきます。両校は、1993年に姉妹校提携をし、翌1994年11月に第1回訪問団として貴校を訪問させていただきました。

以後、毎年、相互に訪問し合い、常に敬意と愛情をもって接待をしてくださいましたことに心より御礼申し上げます。今年度は、姉妹校締結後、交流30周年の記念すべき年度であり、長きに渡り多種多様な文化交流を通じて親交を深め、互いに国際親善を多面的に確認し合う節目の時だと認識しております。

また、正心高級中學と真岡西中学校の交流は、姉妹校締結盟約書に記されている「1両校は、互恵平等の原則に基づき、教育、文化、スポーツ、レクリエーション等の親密な交流を図る」「2両校は、生徒・卒業生・教員ならびにそれらの家族等の友好関係を築くために努力する」を確実に実行していると感じております。

本校を卒業した生徒によると、お世話になったホストファミリーの方々や交流を深めた貴校の生徒たちと、今でも個人的に連絡を取り合っている生徒が多く、互いを認め合いながらすばらしい国際交流が実践されていると実感いたします。まさに、この交流は、教育や文化の交流にとどまらず、国際的な視野に立って、これからの両国や世界の好ましい発展にどう貢献していくかを、未来を担う生徒たちに考えさせる絶好の機会にもなっていると強く感じております。

コロナウイルス感染症流行の影響により、生徒の直接交流が実施できない期間が数年にわたってしまったことが残念ではありますが、今年度直接交流を再開し、共に交流30周年を祝えることを、今から心待ちにしております。

最後になりましたが、斗六市・真岡市友好都市締結を機に、友好の絆が更に強固なものになり、両市の発展と繁栄、そして永遠の友情と平和が深まっていくことを祈念いたしまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。



真岡西中学校長
古澤 英明



日本台灣交流協會台北事務所副代表 服部 崇

副代表賀詞

對此次栃木縣真岡市與雲林縣斗六市締結姊妹市表示由衷的祝賀。

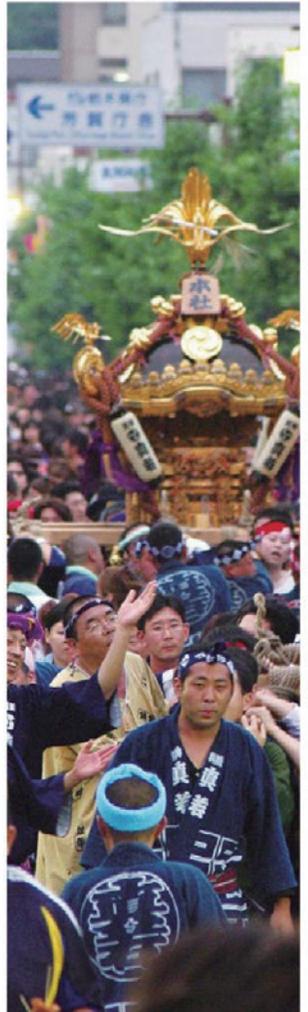
這兩座城市在豐富的自然環境中，農業、商業和工業等產業都屬蓬勃發展的城市。我想對這兩座城市間迄今所做的交流及為達成締結姊妹市而努力的大家表示敬意。

迄今為止，日台友好已經建立在各個層面。其中地方政府間的交流，為日台友好關係做出重大貢獻。日本台灣的交流協會，我們將全面支持地方與地方的交流。我們希望這次兩市締結姊妹市能更進一步強化日台之間的友好關係。

尚祈今後兩市的交流不斷深化，更加繁榮發展的同時，也敬祝大家身體康泰、萬事如意。



日本台灣交流協會台北事務所
副代表 服部 崇



日本台湾交流協会台北事務所副代表 服部 崇

副代表祝辞

この度は栃木県真岡市と雲林県斗六市の友好都市締結心よりお慶び申し上げます。

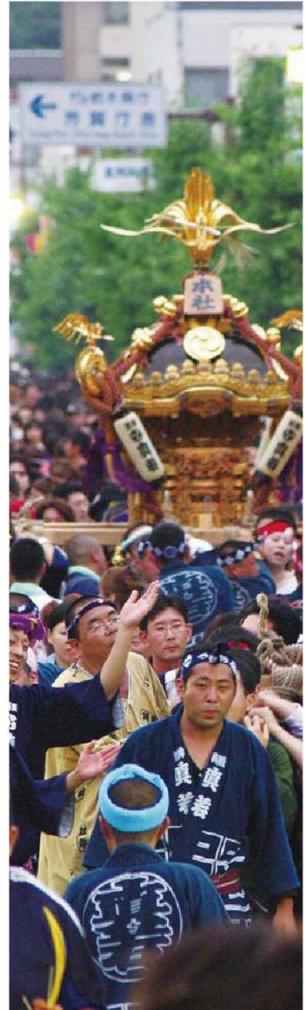
両市はともに、豊かな自然環境の中で、農業、商業や工業などの産業が盛んな素晴らしい都市です。両市のこれまでの交流及び今回の締結に至るまでの皆様方のご尽力に敬意を表します。

これまで日台の友好関係は様々なレベルで築かれてきました。なかでも自治体間の交流は日台の友好関係に大きく寄与しています。日本台湾交流協会としては、地方と地方の間の取り組みを全面的に応援いたします。今回の両市の友好都市締結が日台の友好関係の更なる強化につながることを期待します。

両市が今後も交流を深められ、より一層繁栄発展されまことを祈念申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



日本台湾交流協会台北事務所
副代表 服部 崇





締結儀式與會來賓名單 友好都市締結式出席者リスト

斗六市市長	斗六市市長	林聖爵
雲林縣縣長	雲林県知事	張麗善
雲林縣副縣長	雲林県副知事	謝淑亞
市民代表副主席	市民代表副主席	黃尤美
斗六扶輪社社長	斗六ロータリークラブ会長	張勝超
正心中學校長	正心中學校長	林佳慧
鎮西國小校長	鎮西小学校長	陳嘉銘
張月珍舞蹈團團長	張月珍舞蹈団の団長	張月珍
以及各位市民代表與各位里長	市民代表の皆さまと各里長	

真岡市市長	真岡市市長	石坂 真一
真岡扶輪社社長	真岡ロータリークラブ会長	市村 忠男
真岡扶輪社秘書	真岡ロータリークラブ秘書	見目 良一
真岡扶輪社姊妹社主委	真岡ロータリークラブ姊妹社主委	柳田 尚宏
真岡扶輪社前社長	真岡ロータリークラブ前会長	齊藤 敏彦
真岡扶輪社前社長	真岡ロータリークラブ前会長	岡本 俊夫
真岡扶輪社	真岡ロータリークラブ	頼近 龍
真岡扶輪社	真岡ロータリークラブ	横松 和美
秘書広報課課長	秘書広報課課長	水沼 明美
秘書広報課副主幹	秘書広報課副主幹	上野 美幸
締結協調者	締結調整役	金希仁

真岡市政府線上觀禮來賓 真岡市オンライン出席者

真岡市副市長	真岡市副市長	嶋田 寛
真岡市教育長	真岡市教育長	山中 孝雄
真岡市西中學校長	真岡市西中学校長	古澤 英明
以及其他真岡市府部長課長 線上觀禮來賓	その他、市部課長が出席 しています	